

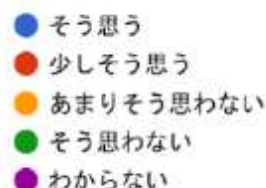
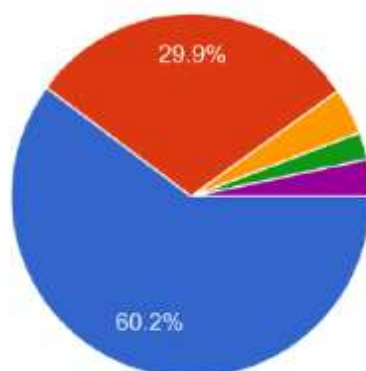
児童アンケート2022前後期 結果と考察

児童

1. 授業は楽しくて、わかりやすい。

578 件の回答

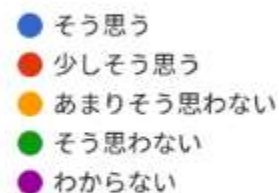
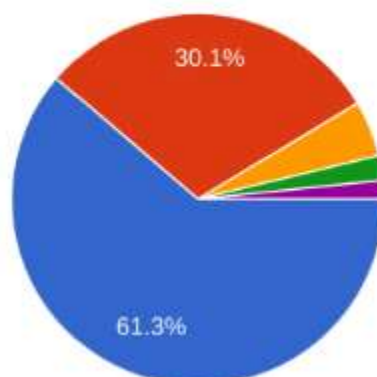
前期



1. 授業は楽しくて、わかりやすい。

555 件の回答

後期



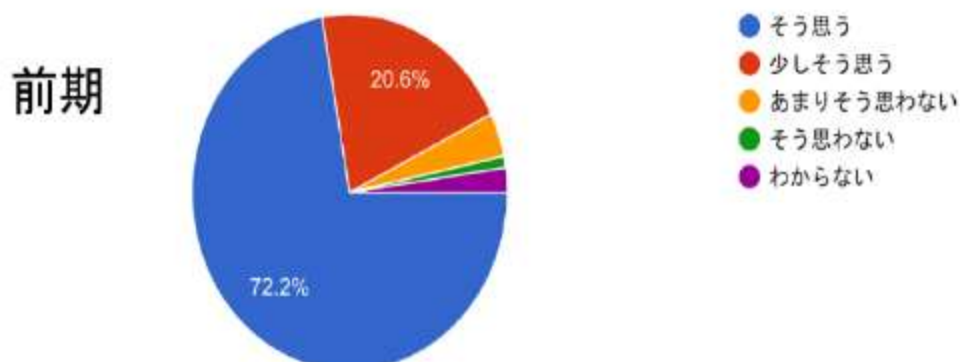
前期

9割が肯定的な回答。学校では授業が殆どの時間を締めます。この授業が楽しくわかりやすかったら、学校はとても楽しいところになります。教職員は、100%を目指して努力を続けます

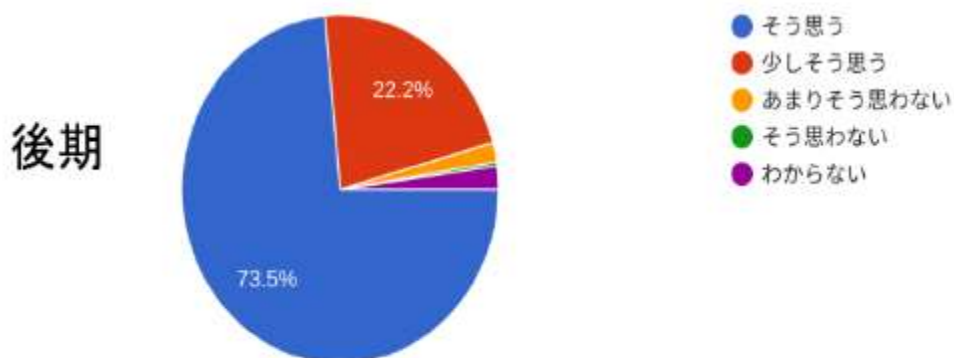
後期

前期と比べると微増です。学習によっては、内容が難しい場合もありますが、子どもたちにとって、楽しくわかりやすい授業を日々行っていきます。教師にとって、子どもたちの「わかった、できた、楽しい」は何よりも嬉しいことです。子どもたちの興味・関心を高め、毎時間のねらいを明確にした楽しい授業を目指して今後も取り組んでいきます。

2. 授業では、みんなで話し合い新しいことがわかる。また、ギガ端末は、役に立っている。
579 件の回答



2. 授業では、みんなで話し合い新しいことがわかる。また、ギガ端末は、役に立っている。
558 件の回答



前期

こちらも9割が肯定的。「主体的で対話的で深い学び」は指導要領でもスローガンのように言われています。子どもたちが友達と学び合うことで力をつける授業を目指しています。

GIGA 端末の活用も積極的に行っています。学年に応じた指導で、子どもたちは力を付けています。

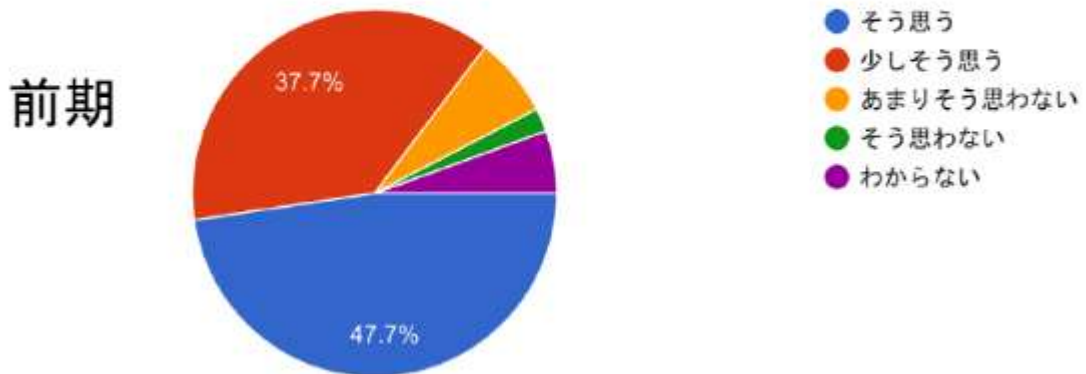
後期

前期に比べて、「あまりそう思わない、そう思わない」の数値が下がっています。話し合いの授業形態も、ペア、少人数、全体と内容やねらいによっていろいろな形態があります。

1時間の中で、いかに子どもたちが考え、交流し、考えを深めたり、広げたりできるかが大切です。聞く＝インプットから、理解したこと考えたことを表現する＝アウトプットによって、学力が定着していきます。いろいろな工夫をしながら、授業を進めています。

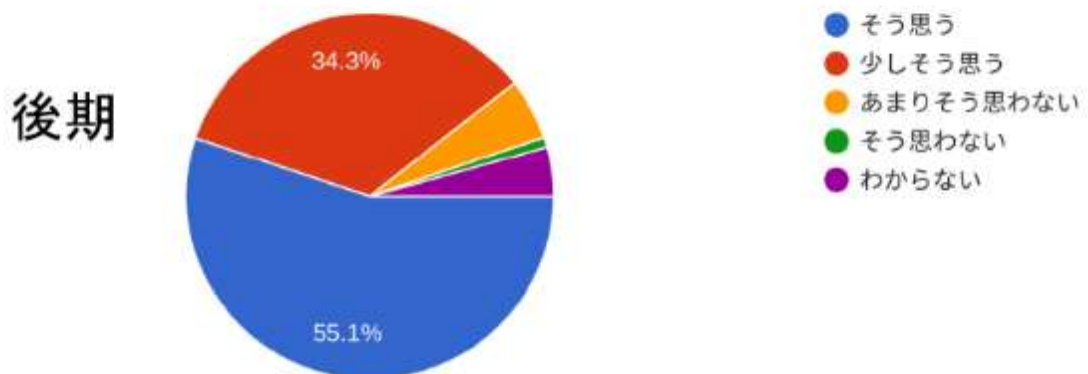
3. 「ふじっ子のころえ」など学校のきまりを大切に考えて、守っている。

581 件の回答



3. 「ふじっ子のころえ」など学校のきまりを大切に考えて、守っている。

557 件の回答



前期

学校のきまりは、子どもたちの安全・安心を守るためにあります。きまりを守ろうという気持ちは社会性の基本です。日々継続して指導しています。子どもたちの「守ろう」という気持ちを育てていきたいと思います。1割ほどの児童の意識を変えていくように指導を続けます。

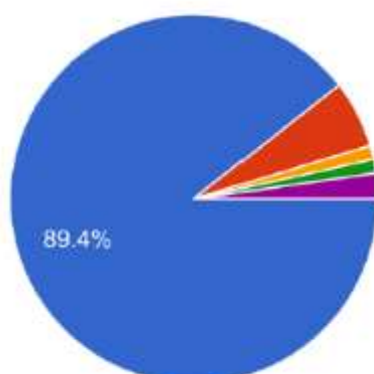
後期

前期と比べて、「そう思う」が7ポイントも伸びました。担任の先生の日々の指導により、きまりの意味についての理解が深まっていると感じます。子どもたちの怪我は廊下を走ったことが原因になっている場合が多く、きまりを守り、落ち着いて生活するように今後も指導を続けていきます。

4. いじめはいけないと思っている。

577 件の回答

前期

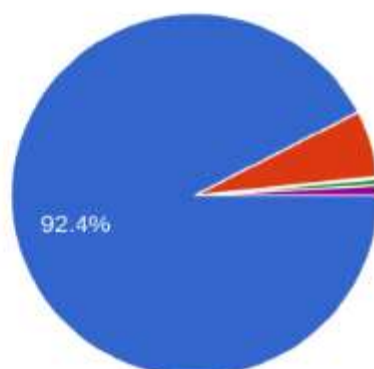


- そう思う
- 少しそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

4. いじめはいけないと思っている。

555 件の回答

後期



- そう思う
- 少しそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない

前期

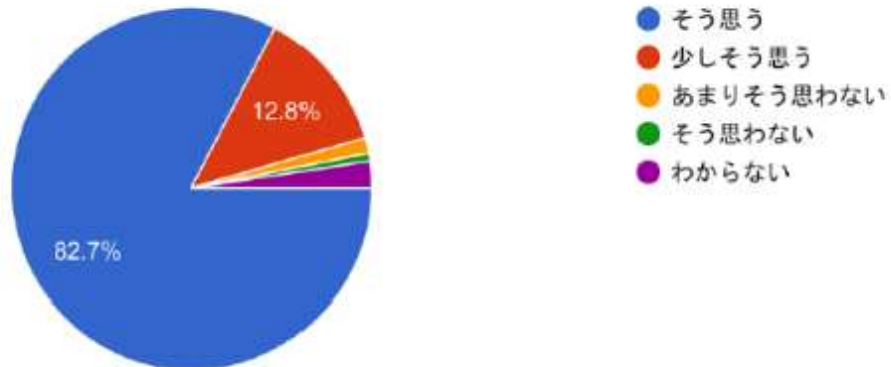
日々、教師側からの「いじめは許さない」という強い思いが9割以上の児童に伝わっているようです。まず、「いじめはいけない」という知識を身につけ、次に「いじめはしない、ゆるさない」という気持ちを育てていきたいです。学年組織、学校全体で対応していきます。

後期

肯定的な回答が、98.4%と上がりました。藤崎小校では、人権の学習を大切にしています。「SOS の出し方教育」が全市で行われるようになりました。また、藤崎独自として性的マイノリティに関する学習も始めております。「困ったら、相談していいんだ」「相談したら、味方になってくれる」とみんなが思えるといいです。一人ひとりを大切に、思いやりをもって行動できたらと考えています。しかし、けんかや揉め事も、大切な経験です。いろいろな経験を通して「ありのままの自分でいられて、ありのままの君を受け止められる」人に成長していけるように日々、支援、指導を続けていきます。

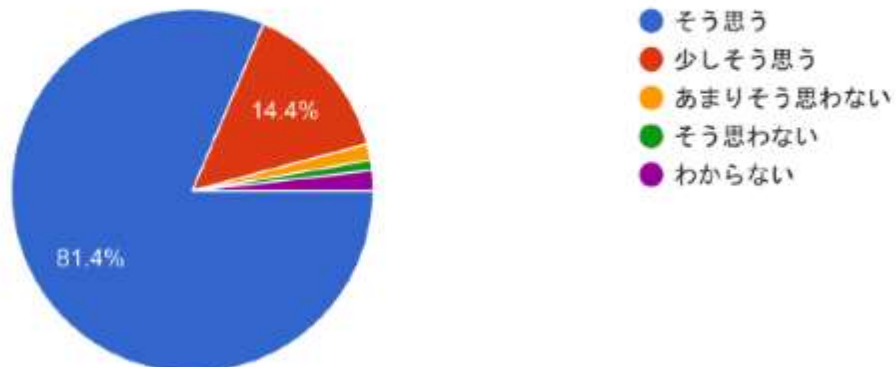
5. 学校で行っている、避難訓練や防犯訓練は、安全を守るために役立っている。
579 件の回答

前期



5. 学校で行っている、避難訓練や防犯訓練は、安全を守るために役立っている。
555 件の回答

後期



前期

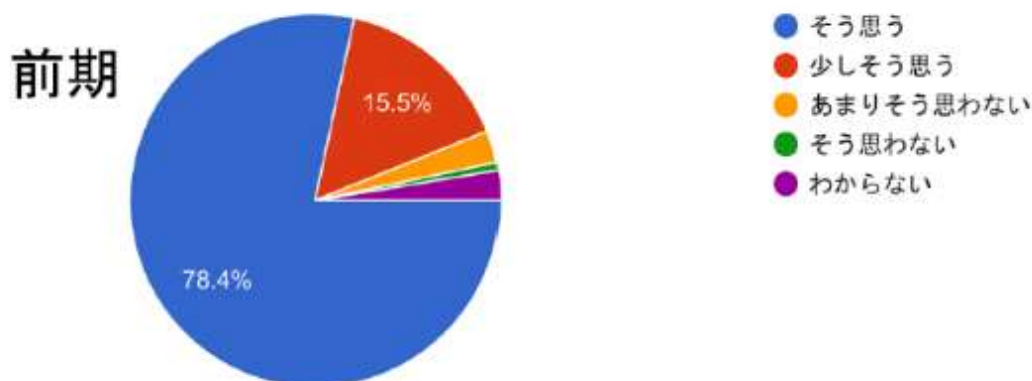
「訓練は本番のように、本番は訓練のように」できるように訓練を行っています。休み時間に知らせずに行う訓練もあり、自分の命は自分で守るという意識も育てていきたいと思えます。津波訓練のときには、3階くらいの高い場所に逃げることも指導しています。また、引き渡し訓練のときだけはもちろん、通学路をお子様と一緒に歩いて危険な場所、避難する場所などを確認しておくこともおすすめします。

後期

先日、5回目の避難訓練がありました。子どもたちは、落ち着いて真剣に行動できていました。災害はいつ起こるかわかりません。もしもにどう備えておくか、心の準備、行動の準備をしておくかが大切です。場所によっては、洪水や土砂崩れの恐れもあります。川崎市ではハザードマップを作っています。親子で確認することも大切だと思います。

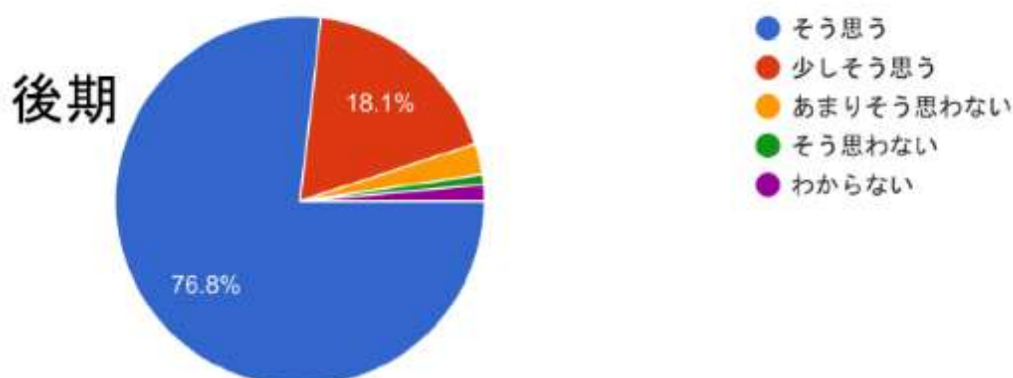
6. 先生からのギガ端末を使っでの連絡はわかりやすい。

579 件の回答



6. 先生からのギガ端末を使っでの連絡はわかりやすい。

557 件の回答



前期

GIGA 端末で、翌日の時間割や宿題・持ち物を伝えるようにしています。お休みの場合も授業の内容を伝えることもできます。ただ、ストリームにアップするタイミングが担任によって違うので、なるべく早く伝えるようにしていきます。子どもたちが困らないように便利に使えるよう改善します。また、お休みした担任からのメッセージがリアルタイムで届き、歓声があがるような場面も見られました。さまざまな伝達だけでなく、つながりを深めるツールとしても役立っています。

後期

GIGA 端末を毎日持ち帰っています。担任からの連絡もそうですが、いつでも使えるツールとして子どもたちに慣れてほしいと願っています。大人が思うよりも、子どもたちは早く、うまく使いこなしています。お休みの子への連絡や、授業の内容がわかるように黒板の画像を送ることもできます。今後も、便利なツールとして使いこなしていけるようにします。